

第9次総量削減計画（素案）概要

～持続可能なとくしまのSATOUMI（里海）に向けて～



1 基本方針

従前の汚濁負荷量の総量規制に加え、地域の実情を踏まえた栄養塩類の管理等、特定の海域ごとのきめ細やかな水質管理を行い、良好な水質と生物多様性や生産性など自然の恵みが享受できる「とくしまのSATOUMI（里海）」の実現を目指す。

2 削減目標

「COD」については、良好な水質を次世代に継承するために、生活排水処理施設の整備促進等により更なる削減を行う。「窒素・りん」の栄養塩については、藻類の色落ちや漁獲量の減少との蓋然性を見据えた削減目標量とする。

第9次目標 令和6年度	COD	窒素含有量	りん含有量
	33トン	19トン	1.5トン
（第8次目標）	（34トン）	（19トン）	（1.5トン）



持続可能なとくしまの
SATOUMI（里海）を
目指します！

瀬戸内海的环境保全に関する徳島県計画

第9次総量削減計画

汚濁負荷削減による水質保全

生活排水改善のための施策

- ◆下水道の整備
- ◆市町村設置型浄化槽等の整備促進及び適正な維持管理の推進
- ◆一般家庭における生活排水対策

事業場排水の適正処理のための施策

- ◆総量規制基準の適用事業場に対する監視指導
- ◆総量規制基準の適用されない事業場等に対する監視指導

農水産系排水の負荷軽減のための施策

- ◆環境保全型農業の推進
- ◆家畜排せつ物のバイオマス資源への活用など畜産排水対策の推進
- ◆水質改善に資する養殖等の取組の推進

生物多様性・生産性の確保に向けた水環境の改善

海域の実情に応じたきめ細やかな栄養塩類管理の推進

- ◆栄養塩管理運転の実証実験

ブルーカーボン生態系を支える藻場・干潟の保全、再生及び創出

- ◆藻場の造成・保全活動の推進

水環境改善対策の推進

- ◆海底耕耘等による底質改善

生物と共生する環境配慮型構造物の採用

- ◆生物共生型護岸等の導入

基盤となる施策の推進

豊かな海「里海」を支える水質モニタリングの充実

- ◆水質測定による水質把握

里海づくりの普及啓発活動

- ◆未来につなぐ「里海」創生リーダーの育成
- ◆県民総ぐるみの水教育の実施
- ◆DXの推進による里海の魅力発信

国内外の閉鎖性海域とのコラボレーション

- ◆国際エメックスセンター等の活用

海洋プラスチックごみを含む漂流ごみ等の除去・発生抑制

- ◆「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」実現に向けた海岸漂着物対策等の推進 等

気候変動等への対応を含む環境モニタリング、調査研究等の推進

- ◆監視測定の充実、広域的な連携による調査研究等の推進 等

とくしまのSATOUMI（里海）の実現